

# Q&A

## 持続する発熱と下痢を主訴に来院した症例

### 【問 題】

症例：40 歳代前半，男性。

主訴：発熱，下痢。

既往歴：特記事項なし。

生活歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：約 2 週間前から 37℃ 後半の発熱，下痢が出現し，その後も持続していたため当院を受診した。2～3 行/日の泥状から水様の便を認めていたが，明らかな血便や粘液便は認めなかった。腹痛や嘔気はなく，食事も減少していなかった。以前から時々軟便になることはあったが，持続することはなかった。

現症：身長 172cm，体重 63kg，体温 37.8℃，意

識清明，血圧 122/72mmHg，脈拍 75/分，眼瞼結膜に貧血なし。腹部は平坦，軟で圧痛なし。皮疹などの皮膚所見は認めず。

血液検査所見：WBC 11540/ $\mu$ l，RBC 471 $\times$ 10<sup>4</sup>/ $\mu$ l，Hb 14.5g/dl，Ht 42.1%，Plt 279 $\times$ 10<sup>4</sup>/ $\mu$ l，TP 7.5g/dl，Alb 3.9g/dl，T-Bil 0.6mg/dl，AST 21IU/l，ALT 18IU/l，LDH 246IU/l，BUN 6.6mg/dl，Cre 0.70mg/dl，T-Cho 139mg/dl，Na 140mEq/l，K 3.8mEq/l，Cl 103mEq/l，CRP 2.18mg/dl，ESR 47mm/hr。

Figure 1 に初診翌日に撮影された腹部造影 CT (冠状断)，Figure 2 に初診 2 日後に施行された下部消化管内視鏡検査における回盲弁 (Figure 2A) と回腸末端 (Figure 2B) の内視鏡像を示す。

考えられる疾患は？

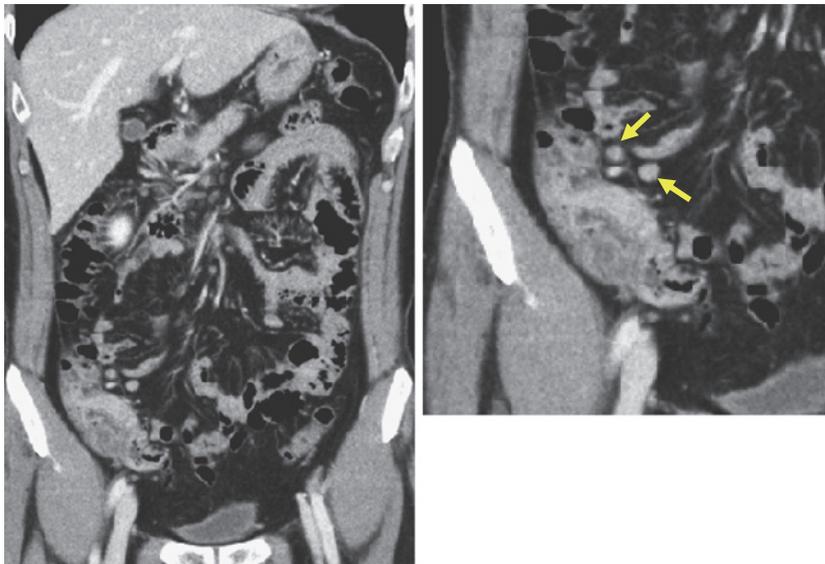


Figure 1. 腹部造影 CT.

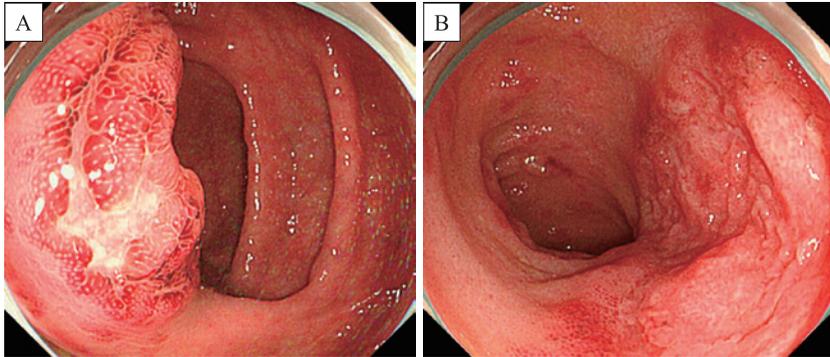


Figure 2. 下部消化管内視鏡検査 A: 回盲弁, B: 回腸末端.